

「夏休み、最後の1週間です」(令和3年8月20日(金))

宮城県・柴田町立船岡中学校 校長

夏 休みがあと1週間となりました。
36日間の夏休みを、ざっくりと週単位で区切ってみると、第1週は県大会、第2～3週は面談や部活動、学級旗の制作、第4週は学校閉庁期間、第5週は部活動や文化祭の準備等の活動でした。また、新型コロナウイルスの感染や熱中症、交通事故、水の事故等に留意しながらの生活でもありました。

そして、最後の1週間は、夏休みの課題の進み具合を確認し、規則正しい生活リズムを心がけ、素晴らしい2学期のスタートが切れるよう、準備してほしいと願っています。

地 域の方々のお力をお借りして、「和太鼓」制作
今週19日(木)～20日(金)、文化祭の発表で使用する「和太鼓」をつくりました。作成にあたっては地域の方々のお力をお借りしました。段ボールとビニールテープなどを材料とし、最後に「船中魂」の三文字を貼って仕上げました。

段ボールの収集、段ボールや装飾紙の切り抜き、穴を空ける位置の指定、のり付けのための用具の準備等、仕上げるための事前準備には、ただただ感謝の言葉しかありませんでした。

関わっていただいたさまざまな方々の思いを大切に、心に残る印象深い文化祭を全校生徒で築き上げていきたいと思います。

県 大会の結果報告を行いました(7/29(木))

先月21日から始まった県中学校総合体育大会の結果報告を、同29日(木)午後、柴田町役場にて行いました。県大会を勝ち進み、東北大会や全国大会への出場を決めた選手諸君が、次のステージへの意気込みを話しました。最後に、町長さんと一緒に記念写真を撮ることができ、一人一人が決意を新たにしました。

◆◆◆◆【読書案内】◆◆◆◆

有川浩「フリーター、家を買う。」(2009年、309ページ)

いままで、こんなに一気に読んだ本があったのだろうかと思うくらい引き込まれました。この物語の主人公・誠治は20代半ばのフリーター。新卒で就職した企業を3か月で退社。その後、アルバイトを転々とし、新しい会社への入社試験では連戦連敗の日々でした。

その後、母が重い心の病にかかってしまい、日中は自宅で母の介護。夜は道路工事のアルバイト。そのバイト先で声をかけられ、一念発起。それからの主人公の頑張りには目を見張るものがあります。気づけば、主人公に声援を送っている自分がいました。さわやかな読後感まちがいなし、の作品です。ちなみに、「校長室文庫」には、同じ著者の作品「県庁おもてなし課」、「三匹のおっさん」、「阪急電車」等があります。こちらもご一読を。



県駅伝大会に向けた練習を重ねています。
校舎外周でのタイム走の様子 8/19(木)



地域の方々のお力をお借りし、文化祭での発表に使う和太鼓づくりに挑戦しました。



文化祭で使う和太鼓を、段ボールを活用してつくりました。「船中魂」の三文字が見えます。(8/19(木)～20(金))



県大会結果報告後の記念写真撮影 7/29(木)



司書の方々による本校図書室の蔵書点検。ありがとうございました。(8/18～19)